

日韓定期戦 2019 <女子>

戦況用紙

日時 2019年6月19日 (火)

場所 アリーナ立川立飛

日本代表 ● 20 $\begin{pmatrix} 9 - 13 \\ 11 - 18 \end{pmatrix}$ 31 ○ 韓国代表

戦況	前半	立ち上がりから動きの固い日本ディフェンスの間隙を突き、No.23Lee、No.11Ryu、No.28Joらがゴールを決めた韓国は、さらにLee、No.21Joの連続攻撃で8分には5-1と試合の主導権を握る。対する日本は攻撃のリズムがかみ合わず、なかなか連続得点が奪えない。7人攻撃やメンバーを入れ替えて、リズムを取り戻そうとするが、ミスを実に得点に結び付ける韓国優位は変わらず、前半は9-13と4点ビハインドで折り返す。
	後半	後半の立ち上がり勝負を賭けた日本だったが、ディフェンスの乱れもあり、逆に韓国がリズムに乗る苦しい展開。それでも河田、横嶋のカットインや大山のステップシュートなどで必死に食い下がる。しかし、韓国の早いパス回しから強烈なシュートを食い止められず、点差はさらに広がる。試合時間残り5分を切ってから3連取で締めくくった韓国が31-20で快勝、日本は悔しい敗戦を喫した。

記入者

羽田 裕一